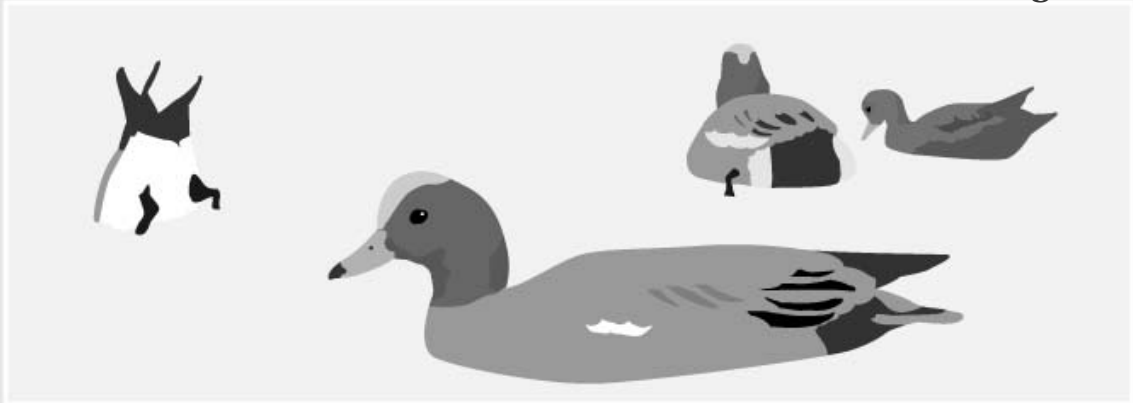


ネイチャーセンターだより

ヒドリガモ

Eurasian Wigeon



オナガガモと並び、風蓮湖ではもっとも数の多いカモで、春と秋の渡りの時に見られます。

秋はオスもメスのような地味な色をしています。今は一目でオスとメスが分かります。オスは茶色い頭で、おでこの所が黄色のが特徴です。近くにいる全身茶色っぽいのがメスです。底の浅い水辺で逆立ちしながら水草を食べたり、湿地で植物の新芽をついばんだりしています。

5月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで (0153-25-3047)

早起きバードウォッチング

- 日時■ 5月14日(日) 5:30~8:00
- 対象■ 小学3年生以上 20名
(小学生は保護者同伴といたします)
- 申込■ 5月7日まで
- 概要■ 5月、夜明け頃の森や草原では、早起きな小鳥達がいそがしそうに飛び回っています。鳥の声に囲まれながらのモーニングコーヒーもご用意いたします。鳥と共にほじまる一日を迎えてみませんか？
協力 日本野鳥の会 根室支部

フィールドボランティア説明会

- 日時■ 5月28日(日) 10:00~15:00
- 対象■ 高校生以上 30名
- 申込■ 5月18日まで
- 概要■ ラムサール登録湿地「風蓮湖・春国岱」でボランティア活動をしませんか？活動の内容や、フィールドをレンジャーがご紹介いたします。

みんなで次代に
つなげよう
風蓮湖・春国岱

※フィールドボランティアについては、2ページをご参照下さい。

フィールドボランティア

大募集!



— ラムサール条約湿地『風蓮湖・春国岱』 次の世代につなぐため —

「風蓮湖・春国岱」は、昨年11月ラムサール条約湿地に登録されました。ネイチャーセンターでは、地域の方々と共に、この貴重な湿地を次の世代につなげていくための活動をより積極的に行っていきたいと考えています。そのために、風蓮湖・春国岱をフィールドにボランティア活動する、「フィールドボランティア」にご参加いただける方を募集します。「風蓮湖・春国岱」のために「何かしたい」「その大切さや貴重さを伝えたい」という方、まずは説明会にいらしてください!

フィールドボランティアって何?

「風蓮湖・春国岱」の自然を次の世代にのこしていく活動や、その貴重さや楽しさを人に伝えていく活動に参加する人です。

どんな活動をするの?

来訪者への情報提供

自然観察会の企画と実施

鳥の調査

ゴミ拾いや、観察路の管理作業

⑤ 基礎的な知識や技術を学ぶ勉強会 など

個人単位で活動できるものがありますので、ご自身のペースにあわせてご参加下さい。

自然観察会や、調査の経験がない方も、活動をとおして、少しずつ身につけていきますよ。



みんなで次代に
つなげよう
風蓮湖・春国岱

どうしたらフィールドボランティアに参加できるの?

5月28日の「フィールドボランティア説明会」にご参加ください!
説明会ご参加後、フィールドボランティアへのご参加をお決めいただけますので、まずはお気軽にどうぞ。



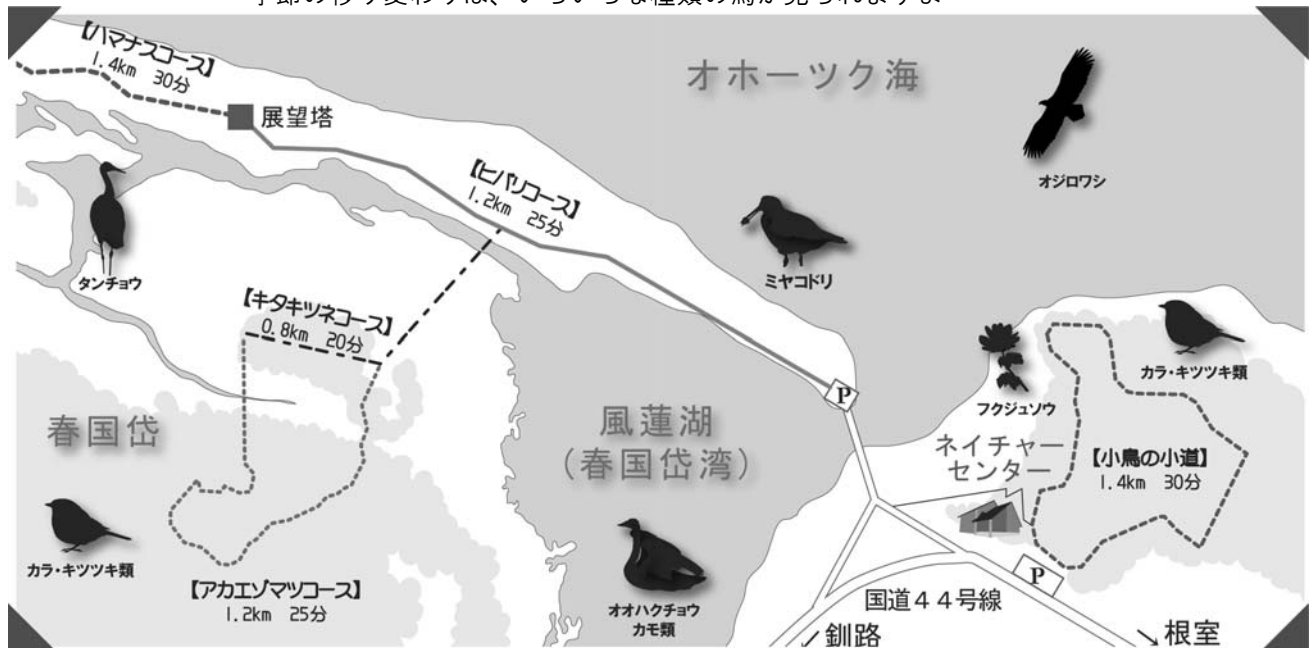
根室、世界の宝である風蓮湖・春国岱を
次世代に残していく活動
フィールドボランティアに是非ご参加下さい!

Field
Volunteer



自然情報 *4月*

風蓮湖・春国岱の雪や氷が解け、長かった冬から春へと季節が移ります
季節の移り変わりは、いろいろな種類の鳥が見られますよ



カラ・キツツキ類

森の木々の葉が茂る前は、小鳥を観察しやすい時期です。繁殖期になるので、雄が綺麗にさえずる声や、ドラミングといって、キツツキのオスが大きな音で木をつつく音も聞こえてきます。春国岱の森の中では、運が良ければクマゲラに出会えるかも!?



観察路が雪や氷で覆われている場所があります
十分注意してください

オジロワシ

冬に風蓮湖周辺でたくさん見られたオオワシは、サハリンなど北へ帰ってしまいます。一方、オジロワシは少数が夏も残り、ここでは一年中見られます。これからの季節は潮の引いた干潟でよく観察されます。



タンチョウ

風蓮湖や湿地の氷がとけ始めると、さっそくタンチョウが戻ってきました(冬の間は鶴居村・阿寒町の給餌場へ行っていました)。これから繁殖期になりますので、姿を見つけてもそっと見守ってあげてください。



オオハクチョウ&カモ

氷がとけ、水面が見えると、オオハクチョウが南から渡ってきました。ここで羽を休めると、さらに北の繁殖地まで長い旅を続けます。ヒドリガモやオナガガモといったカモ達も、湖面でたくさん見られます。湖が賑やかになりました。



ミヤコドリ

春国岱の干潟には、春になるとミヤコドリという鳥が渡ってきます。今年は3月中に1羽が観察されました。これから数が増えて、25羽前後見られるようになります。



フクジュソウ

ネイチャーセンターの横の自然学習林では、雪がとけると真っ先に黄色いフクジュソウの花が咲きだします。この花に続いて、林の中ではいろいろな花が咲き出し、鳥だけではなく、花も楽しい季節の始まりです。



センターでは双眼鏡の無料貸出をしています
どうぞお気軽にご利用ください



ネイチャーセンター日記

3月27日、春国岱でヒバリを確認しました。「ビルッ」という声で鳴き、草原から数メートル位の高さを飛び移動していました。スズメより少し大きな茶色い体で、時々、頭の羽をたたせるのが特長のこの鳥は、冬の間、本州以南で過ごし、例年、雪が消えはじめるこの時期に訪れ子育てをしていきます。根室では、ヒバリは春の訪れを告げる小鳥の1つで、彼らの訪れを皮切りに、森や林では小さな花が咲き始め、草原に小鳥の姿が増えていきます。彼らの訪れを知り、春の確かな訪れを実感していました。これから、冬に見られなかった生き物が次々と姿を見せ始めるようになります。今年初めて出会う鳥や花を探すのが楽しい季節になりました。

翌3月28日、春の黄色い花、フクジュソウも確認されました。



メール配信のお願い

郵送費削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

団体向けプログラムのご案内

- ① 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
 - 自然のお話 (25分 / 10~45名)
 - 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
 - タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp

- 4・5月の開館時間■ 9:00~17:00
- 4・5月の休館日■ 4月/5・12・19・26日、5月/8・11・17・24・31日
(4/29~5/7まで、休まず開館いたします)



~雑学クイズ~

今月の表紙にもなっている
ヒドリガモ。
漢字で書くとどうでしょう?

日取鴨

おでこの黄色い部分がお日さまを取ったように見える鴨(かも)だから

緋鳥鴨

緋(ひ)色の頭をした鳥で鴨(かも)の種類だから

火禽鴨

火のような色の頭をした禽(とり)の鴨(かも)だから

答えは右側→

2006.4 発行

7170の巻末...

②